



## 2019年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月13日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東  
 コード番号 2820 URL <http://www.yamami.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 清  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 辰男 (TEL)0848(86)3788  
 定時株主総会開催予定日 2019年9月25日 配当支払開始予定日 2019年9月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年9月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期の業績(2018年7月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	10,881	3.6	941	△4.2	976	△2.0	684	5.8
2018年6月期	10,499	7.2	983	4.3	996	5.9	646	2.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	100.44	100.23	12.7	8.8	8.7
2018年6月期	101.47	101.14	14.9	11.0	9.4

(参考) 持分法投資損益 2019年6月期 一百万円 2018年6月期 一百万円

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	12,805	6,199	48.2	890.50
2018年6月期	9,448	4,631	48.9	723.92

(参考) 自己資本 2019年6月期 6,176百万円 2018年6月期 4,615百万円

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	1,674	△4,748	2,765	244
2018年6月期	1,494	△1,495	△265	551

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期	—	10.00	—	10.00	20.00	127	19.7	2.9
2019年6月期	—	14.00	—	10.00	24.00	166	23.9	3.0
2020年6月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00		23.8	

### 3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	12,500	14.9	631	△33.0	660	△32.4	699	2.1	100.78

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期	6,936,100株	2018年6月期	6,376,100株
② 期末自己株式数	2019年6月期	205株	2018年6月期	77株
③ 期中平均株式数	2019年6月期	6,814,729株	2018年6月期	6,376,080株

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（日付の表示変更）

2019年6月期第1四半期決算短信より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移したことにより、雇用情勢や所得環境の緩やかな改善傾向が続き、景気は概ね堅調に推移しました。一方で、消費者マインドにも回復の兆しが見られるものの、先行き不安により、以前節約志向が高く、個人消費は伸び悩み状況が続いております。また、海外情勢は米国と中国の政治動向や金融資本市場の情勢にリスク懸念があり、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が属します食品製造業におきましては、個人消費が底堅く推移していることから販売は安定的な推移となりました。

このような状況のもと、当社は一般消費向け各種豆腐、厚揚げ等を主力に、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも積極的な営業を展開し、販売に注力いたしました。また、食品加工業、外食産業向けに各種豆腐等の販売を推進いたしました。

設備面では、2018年12月に本社工場でバラエティラインの更新、そして関西工場で6 B豆腐ラインの新設が完了し、受注のキャパシティの確保を行うとともに、時間当たり製造量が増加したことにより、従来よりも製造体制の効率化を図りました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高10,881百万円と前年同期と比べ382百万円(3.6%)の増収となりました。

利益につきましては、運送コストの上昇による荷造運賃の増加、従業員の待遇向上のための人件費の増加等による影響もあり、営業利益は941百万円と前年同期と比べ41百万円(4.2%)の減益、経常利益は976百万円と前年同期と比べ19百万円(2.0%)の減益、当期純利益は684百万円と前年同期と比べ37百万円(5.8%)の増益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末と比較して3,357百万円増加し、12,805百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して260百万円減少し、1,996百万円となりました。これは主に当事業年度末が金融機関の休日だったこと等により、現金及び預金が354百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して3,617百万円増加し、10,808百万円となりました。これは富士山麓工場の新設、本社工場バラエティラインの更新、及び関西工場6 B豆腐ラインの新設等により増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当事業年度末における総負債は、前事業年度末と比較して1,788百万円増加し、6,605百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して244百万円増加し、2,731百万円となりました。これは短期借入金が300百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して1,544百万円増加し、3,874百万円となりました。これは主に長期借入金が1,554百万円増加したこと等によるものです。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比較して1,568百万円増加し、6,199百万円となりました。これは主に当期純利益684百万円により利益剰余金が増加したこと、公募による新株式発行により、資本金が519百万円、資本剰余金が519百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して307百万円減少し、244百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,674百万円(前事業年度は1,494百万円の収入)となりました。

これは、収入要因として税引前当期純利益971百万円、減価償却費1,113百万円等があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、4,748百万円（前事業年度は1,495百万円の支出）となりました。

これは、富士山麓工場の新設、本社工場バラエティラインの更新、及び関西工場6B豆腐ラインの新設に伴う、有形固定資産の取得による支出4,789百万円等があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、2,765百万円（前事業年度は265百万円の支出）となりました。

これは、配当金の支払額による支出160百万円があった一方で、長期借入れによる収入2,300百万円、株式発行による収入1,038百万円等があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
自己資本比率 (%)	25.8	41.1	47.0	48.9	48.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	—	108.4	140.0	152.2	140.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.3	1.9	2.3	1.9	2.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	36.4	60.7	46.6	53.5	68.5

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注 1) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注 2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しに関しては、雇用所得環境が緩やかながらも改善傾向が続いており、個人消費が底堅く推移していることから、伝統食材である豆腐の販売は安定して推移していくものと見込まれます。

このような状況下におきまして当社は、設備投資による製造原価の低減を継続的に図り、一般消費向け各種豆腐厚揚げ等を安定的に供給していくとともに、食品加工業、外食産業向けに各種豆腐等の販売を推進していくこと等により、安定的な企業成長を目指す所存であります。また、国内最大規模の市場である関東地域への進出のために新設している富士山麓工場が2019年9月に稼働予定となっており、中期的な成長要因として企業価値向上に努めてまいります。さらに2019年8月から新商品として「おからパウダー」の販売を開始しており、積極的に営業展開していく所存であります。

以上に基づき次期の業績につきましては、売上高12,500百万円（前事業年度比14.9%増）、営業利益631百万円（同33.0%減）、経常利益660百万円（同32.4%減）、当期純利益699百万円（同2.1%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当事業年度 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	653,926	299,295
売掛金	1,398,160	1,442,671
商品及び製品	36,137	39,253
原材料及び貯蔵品	163,663	198,157
その他	5,372	17,329
流動資産合計	2,257,260	1,996,706
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,101,222	3,549,301
減価償却累計額	△1,180,197	△1,317,835
建物(純額)	1,921,024	2,231,466
構築物	651,513	697,576
減価償却累計額	△338,062	△371,138
構築物(純額)	313,450	326,437
機械及び装置	8,568,760	9,760,609
減価償却累計額	△5,076,869	△5,836,721
機械及び装置(純額)	3,491,891	3,923,888
車両運搬具	25,276	25,547
減価償却累計額	△22,202	△22,921
車両運搬具(純額)	3,073	2,625
工具、器具及び備品	73,265	71,135
減価償却累計額	△57,600	△57,588
工具、器具及び備品(純額)	15,664	13,547
土地	848,448	2,115,391
リース資産	67,199	67,199
減価償却累計額	△53,308	△63,288
リース資産(純額)	13,891	3,911
建設仮勘定	515,767	2,119,921
有形固定資産合計	7,123,213	10,737,189
無形固定資産		
ソフトウェア	6,088	5,570
その他	619	619
無形固定資産合計	6,708	6,190
投資その他の資産		
投資有価証券	9,442	7,887
出資金	60	60
長期前払費用	4,785	6,147
その他	46,840	51,148
投資その他の資産合計	61,128	65,244
固定資産合計	7,191,050	10,808,624
資産合計	9,448,310	12,805,331

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当事業年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	667,225	629,520
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	639,998	692,661
リース債務	10,040	2,106
未払金	753,233	690,165
未払費用	151,119	198,705
未払法人税等	195,986	148,091
未払消費税等	19,931	20,303
預り金	40,333	40,343
賞与引当金	8,738	8,540
その他	582	842
流動負債合計	2,487,189	2,731,280
固定負債		
長期借入金	2,204,210	3,758,213
リース債務	4,213	2,107
預り保証金	4,000	4,000
繰延税金負債	116,947	109,849
固定負債合計	2,329,370	3,874,169
負債合計	4,816,560	6,605,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,086	1,215,556
資本剰余金		
資本準備金	669,086	1,188,556
資本剰余金合計	669,086	1,188,556
利益剰余金		
利益準備金	7,569	7,569
その他利益剰余金		
圧縮積立金	302,656	290,615
繰越利益剰余金	2,939,310	3,474,927
利益剰余金合計	3,249,536	3,773,112
自己株式	△205	△443
株主資本合計	4,614,503	6,176,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,198	△341
評価・換算差額等合計	1,198	△341
新株予約権	16,048	23,440
純資産合計	4,631,750	6,199,881
負債純資産合計	9,448,310	12,805,331

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	10,499,065	10,881,749
売上原価		
製品期首たな卸高	30,563	36,137
当期製品製造原価	7,625,242	7,930,952
合計	7,655,805	7,967,089
製品期末たな卸高	36,137	39,253
製品売上原価	7,619,668	7,927,836
売上総利益	2,879,397	2,953,913
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	781,664	937,121
広告宣伝費	24,029	14,209
販売手数料	689,216	701,947
給料及び賞与	216,688	168,945
賞与引当金繰入額	1,090	1,110
減価償却費	6,436	5,061
その他	176,849	183,567
販売費及び一般管理費合計	1,895,975	2,011,961
営業利益	983,421	941,951
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	86	94
助成金収入	24,246	41,999
受取補償金	10,322	—
自動販売機収入	3,912	4,744
スクラップ売却収入	1,880	3,085
保険金収入	—	19,726
その他	1,180	5,144
営業外収益合計	41,647	74,815
営業外費用		
支払利息	27,912	24,443
株式交付費	—	8,984
その他	870	6,572
営業外費用合計	28,782	40,000
経常利益	996,287	976,766
特別損失		
固定資産除却損	26,147	4,885
特別損失合計	26,147	4,885
税引前当期純利益	970,140	971,881
法人税、住民税及び事業税	334,210	293,865
法人税等調整額	△11,031	△6,423
法人税等合計	323,179	287,442
当期純利益	646,960	684,438

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	696,086	669,086	669,086	7,569	315,164	2,407,363	2,730,097
当期変動額							
新株の発行	—	—	—				
剰余金の配当						△127,522	△127,522
当期純利益						646,960	646,960
圧縮積立金の取崩					△12,508	12,508	—
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	△12,508	531,947	519,438
当期末残高	696,086	669,086	669,086	7,569	302,656	2,939,310	3,249,536

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	—	4,095,270	2,088	2,088	5,026	4,102,385
当期変動額						
新株の発行		—				—
剰余金の配当		△127,522				△127,522
当期純利益		646,960				646,960
圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得	△205	△205				△205
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△890	△890	11,021	10,131
当期変動額合計	△205	519,233	△890	△890	11,021	529,364
当期末残高	△205	4,614,503	1,198	1,198	16,048	4,631,750

当事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	696,086	669,086	669,086	7,569	302,656	2,939,310	3,249,536
当期変動額							
新株の発行	519,470	519,470	519,470				
剰余金の配当						△160,862	△160,862
当期純利益						684,438	684,438
圧縮積立金の取崩					△12,040	12,040	—
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	519,470	519,470	519,470	—	△12,040	535,616	523,576
当期末残高	1,215,556	1,188,556	1,188,556	7,569	290,615	3,474,927	3,773,112

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△205	4,614,503	1,198	1,198	16,048	4,631,750
当期変動額						
新株の発行		1,038,940				1,038,940
剰余金の配当		△160,862				△160,862
当期純利益		684,438				684,438
圧縮積立金の取崩		—				—
自己株式の取得	△237	△237				△237
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△1,539	△1,539	7,392	5,852
当期変動額合計	△237	1,562,278	△1,539	△1,539	7,392	1,568,130
当期末残高	△443	6,176,782	△341	△341	23,440	6,199,881

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	970,140	971,881
減価償却費	972,157	1,113,365
賞与引当金の増減額(△は減少)	578	△198
受取利息及び受取配当金	△105	△114
株式交付費	—	8,984
支払利息	27,912	24,443
固定資産除却損	26,147	4,885
売上債権の増減額(△は増加)	△298,757	△44,511
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,512	△37,610
仕入債務の増減額(△は減少)	53,041	△37,704
未払金の増減額(△は減少)	26,556	△4,421
保険金収入	—	△19,726
その他	38,372	51,594
小計	1,781,530	2,030,869
利息及び配当金の受取額	105	114
利息の支払額	△28,129	△24,879
保険金の受取額	—	19,726
法人税等の支払額	△259,109	△350,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,494,397	1,674,850
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,014	△4,015
定期預金の払戻による収入	—	51,030
有形固定資産の取得による支出	△1,481,608	△4,789,783
有形固定資産の除却による支出	△680	—
無形固定資産の取得による支出	△2,700	△478
投資有価証券の取得による支出	△654	△658
その他	△3,922	△4,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,495,580	△4,748,206
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	300,000
長期借入れによる収入	600,000	2,300,000
長期借入金の返済による支出	△727,463	△693,334
自己株式の取得による支出	△205	△237
株式の発行による収入	—	1,038,940
株式交付費の支出	—	△8,984
リース債務の返済による支出	△10,731	△10,040
配当金の支払額	△127,469	△160,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,869	2,765,740
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△267,051	△307,616
現金及び現金同等物の期首残高	818,900	551,848
現金及び現金同等物の期末残高	551,848	244,232

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、豆腐等製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	723.92円	890.50円
1株当たり当期純利益金額	101.47円	100.44円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	101.14円	100.23円

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	646,960	684,438
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	646,960	684,438
普通株式の期中平均株式数(株)	6,376,080	6,814,729
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	20,830	13,937
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。